

平成 28 年定例会

戦略企画雇用経済常任委員会
所管事項説明資料

◎ 所管事項説明

- | | |
|----------------------------------|--------|
| (1) 国際展開の取組状況について | ・・・ 1 |
| (2) 雇用施策の推進について | ・・・ 3 |
| (3) 第 10 次三重県職業能力開発計画（最終案）について | ・・・ 7 |
| | (別冊 1) |
| (4) 首都圏営業拠点「三重テラス」について | ・・・ 14 |
| | (別冊 2) |
| (5) みえリーディング産業展 2016 の開催結果について | ・・・ 22 |
| (6) 企業誘致の推進について | ・・・ 24 |
| (7) シャープ株式会社亀山工場立地に伴う経済波及効果等について | ・・・ 26 |
| (8) 「三重県観光振興基本計画」の取組状況等について | ・・・ 36 |
| (9) 伊勢志摩サミット終了後の取組について | ・・・ 38 |
| (10) 各種審議会等の審議状況の報告について | ・・・ 50 |

平成 28 年 12 月 9 日

雇用経済部

(1) 国際展開の取組状況について

1 中国・河南省との「友好県省関係締結 30 周年記念事業」の開催等について

河南省から、梁 静^{りょう せい}氏（中国人民政治協商会議河南省委員会副主席（副省長級））を団長とする代表团（政府団一行 8 名ほか 2 つの代表团）を三重県に迎えて、平成 28 年 11 月 12 日（土）、総合文化センター等において、「三重県・河南省友好県省関係締結 30 周年記念式典」等の記念事業を民間団体の皆様と一緒に開催しました。

(1) 記念式典・レセプション

総合文化センター内の文化会館 1 階レセプションルームにおいて、記念式典とレセプションを開催しました。約 90 名（河南省からの代表団員 21 名を含む）が出席し、両県省の友好関係が 30 周年を迎えたことについて祝うとともに、引き続きさまざまな分野で交流していくことを確認しました。

(2) 友好交流展

総合文化センター内の文化会館 2 階第 2 ギャラリーにおいて、これまでの友好交流を振り返るため、活動の写真パネルや当時の記念品等を公開展示し、河南省代表団員や来賓の中国駐名古屋総領事のほか、県民の皆様にご覧いただきました。

(3) フレンドシップコンサート

総合文化センター内の文化会館 1 階大ホールにおいて、県内で活躍する音楽グループによる演奏・合唱（ジャズ、大正琴、ゴスペル）、太極拳や少林寺拳法のデモンストレーション演技などをご覧いただきました。

今後も、多様な主体が参加し、幅広い分野における交流が進むよう、民間団体の皆様と協力しながら、河南省との友好交流の継続・発展に向け、しっかりと取り組んでいきます。



記念式典



友好交流展

2. 知事のベトナム訪問について

平成 28 年 11 月 14 日（月）から 11 月 17 日（木）にかけて、「みえ国際展開に関する基本方針」に基づき、伊勢志摩サミットを契機とした連携・交流の強化、並びに本県の食の販路拡大及び観光誘客、産業連携に関するトップセールスを行うため、ベトナム（ハノイ市、ハイフォン市）を訪問しました。

（1）伊勢志摩サミットを契機とした連携・交流の強化

本年 5 月の伊勢志摩サミットの際に来県され、面談を行ったフック首相を、ホイアン市と観光交流協定を締結している松阪市長とともに表敬訪問し、貿易、投資、観光、人材育成、環境問題対策等、さまざまな分野における三重県とベトナム政府との今後の協力に向けて意見交換を行いました。

また、四日市市と経済交流に関する覚書を締結しているハイフォン市を訪問し、県内企業の貿易促進や企業進出等について意見交換を行ったほか、計画投資省や文化・スポーツ・観光省を訪問しました。



フック首相面談後の集合写真



ハイフォン市との意見交換

（2）食の販路開拓や観光誘客に係るトップセールス等

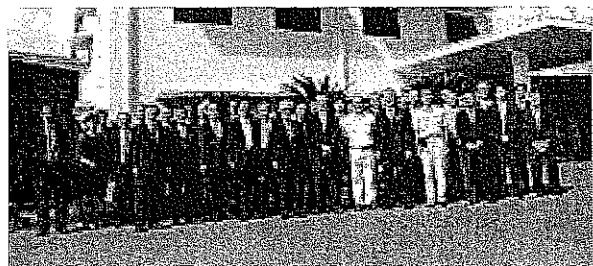
ベトナム国内における高級和食店が入店する「ホテル・ニッコー・ハノイ」、ハノイエリアにおけるイオン 1 号店となる「イオンモール・ロンビエン店」を訪問し、三重県産品のトップセールスや意見交換を行いました。

さらに、伊勢志摩サミット開催により知名度が高まっている本県への観光誘客を促進するため、ベトナム国内の 200 社を超える旅行会社等を会員とする「ベトナム旅行業協会」を訪問し、本県とベトナムとの交流人口増加に向けた意見交換を行ったほか、ベトナム最大の ICT 企業である「FPT コーポレーション」を訪問し、人材交流や本県へのインセンティブ（報奨）旅行誘致に関する意見交換を行いました。

また、ベトナムに進出している県内企業を訪問し、意見交換を行いました。



ベトナム旅行業協会との意見交換



ベトナム進出企業への訪問

(2) 雇用施策の推進について

本県では、障がい者や女性、高齢者などすべての方が自己の能力や適性に応じて働けるよう、誰もが働き続けることができる環境づくりや、次代を担う若者の就労支援のため、情報提供をはじめとする総合的な対策を関係機関と連携しながら進めているところです。今回は、雇用施策に関する最近の主な動向についてご報告いたします。

1 障がい者雇用

(1) ステップアップカフェ「C o t t i 菜 (こっちな)」について

ステップアップカフェ「C o t t i 菜」は、一般就労に向けた実践的な訓練の場であるとともに、障がい者がいきいきと働く姿を企業や県民の皆様に見ていただき、障がい者が働くことについて考え、理解を深めていただくことを目的としています。

① カフェ機能

「C o t t i 菜」の総来店者数は、平成 26 年 12 月のオープン以来、平成 28 年 11 月末日までに 5 万 5 千人を超えました。「C o t t i 菜」で働く障がい者のスタッフは、調理の下ごしらえから接客、後片付けまで一連のさまざまな業務を担当し、成長しています。新たな一般就労の職場へステップアップする方も出ています。

障がい者の職場実習については、今年度は 11 月末日までに県立特別支援学校などから 4 人を受け入れています。

② ブラッシュアップ機能

「C o t t i 菜」店内において、障がい者就労支援事業所等で作られた製品を販売しています(平成 26 年 12 月のオープンから平成 28 年 11 月末日までの取扱数累計: 48 事業所、158 点)。

また、県立特別支援学校や障がい者就労支援事業所等で作られた製品の紹介、展示も行っています。展示をきっかけとして企業の協力により誕生した、手作りブランド「M. I. E (ミー)」の商品は、現在、「C o t t i 菜」を含め、県内外の 5 店舗において販売されています。このうち、「ペタンコバッグミニ」は、伊勢志摩サミットにおいて配偶者への贈呈品として使用されました。



「M. I. E」の店頭販売

③ コーディネート機能

「C o t t i 菜」には、県内外の企業や団体、関係機関等から、視察・見学に来ていただいています(平成 28 年度における 11 月末日までの受入数: 13 件、183 人)。

まもなく「C o t t i 菜」オープン 2 周年を迎えるにあたり、新しい取組として、「ステップアップ大学」を 12 月 20 日に開校します。「ステップアップ大学」では、企業や県民の皆様が障がい者雇用に関する理解をさらに深めていただくために、毎月 1 回ずつ、「C o t t i 菜」店内において、「知る」、「話す」の授業を行います。

「知る」という授業は、県内で働く障がい者が「話し手」となって、仕事の様子や普段の生活、就職するまでの思いなどを話すとともに、参加者からの質問に答えます。障がい者ご本人やご家族、支援者、企業関係者などさまざまな方々にご参加いただき、「障がい者が働くこと」について考える場にしていきます。

「話す」という授業は、企業関係者同士が自社における障がい者雇用の課題やその対応策、取組の進め方、障がい者を雇用して良かったことなどについて話し合い、学び合う場にしていきたいと考えています。

【授業のカリキュラム】平成29年1月～平成29年3月の予定

- ・C o t t i菜で「知る」 毎月第2金曜 18:30～19:30
- ・C o t t i菜で「話す」 毎月第3水曜 15:30～17:00

これらの取組を通じて、「C o t t i菜」をさまざまな人が集い、交流する場として活用していきます。

2 U・Iターン就職支援

県内の高校を卒業し大学へ進学する学生の約8割が県外大学に進学しているのが現状ですが、民間の調査や協定締結大学からの情報によると、県外に進学した本県出身の大学生で、本県での就職への希望は多いとの声も聞いています。

このため、現在、県外大学との就職支援協定の締結による取組をはじめとしたU・Iターン就職の促進等に取り組んでいるところです。

(1) 県外大学との就職支援協定の締結

本県出身者が多く在籍する県外の大学との間で、相互に連携・協力する体制を整え、学生のU・Iターン就職の促進を図ることを目的とした就職支援協定の締結を進めることにより、協定締結大学内の学生・保護者への情報提供や就職に関するニーズ把握等に努めています。

今年度は、昨年度の3校（立命館大学、近畿大学、龍谷大学及び龍谷大学短期大学部）に引き続き、本県からの出身者が多く、U・Iターン就職に積極的な関西地域の大学と協定を締結しました。（同志社大学：平成28年8月、関西大学：平成28年8月）。

さらに、中部地域の大学とも協定を締結しました。（愛知学院大学：平成28年10月、中部大学：平成28年11月）

○協定締結先大学との主な連携事業

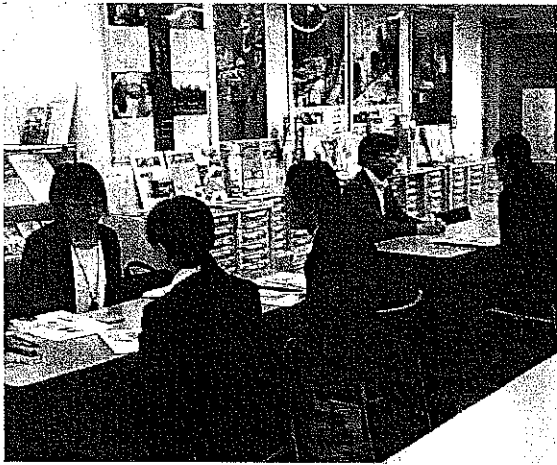
- ・「みえの就職けんきゅう」（メールマガジン）により、各大学生へ直接U・Iターン就職に関する情報を提供
- ・各大学が実施している保護者向け就職説明会への参加
- ・知事講演会の開催（立命館大学：12月6日、近畿大学：12月9日）
- ・県内企業へのインターンシップを促進
- ・本県出身学生とのネットワークづくり



知事と大学生とのトークセッション
（立命館大学：12月6日）

(2) 各地域における取組

県内高校を卒業し県外大学へ進学した学生を呼び戻すとともに、県外出身者を呼び込むため、県内企業との相談会をはじめとしたセミナーの開催を進めています。



U・Iターン就職セミナーにおける企業との面談

① 関東地域

- ・ U・Iターン就職セミナー
ええとこやんか三重 移住相談センターにおいて3回開催（6月、9月、10月）
三重テラスにおいて1回開催（7月）
- ・ 大学訪問 59回（うち相談会7回に参加）

② 関西地域

- ・ U・Iターン就職セミナー
大阪、京都の各市内で、平成29年2月に各2回開催予定
- ・ 大学訪問 41回（うち相談会2回に参加）

③ 中部地域

- ・ U・Iターン就職セミナー
名古屋市内で、平成29年2月に2回開催予定
- ・ 大学訪問 50回（うち相談会3回に参加）

④ 県内における取組

- ・ U・Iターン就職セミナー
津市で開催（8月）

(3) 県内企業の魅力発信

若者の県内就職や職場定着を促進するため、県内企業の魅力が若者に十分に理解されるよう、情報発信を進めています。

- ・ 県内企業100社（さらに今年度100社追加掲載予定）を対象に、求人情報には記載されない経営方針や社風、先輩社員からのエール等、企業を深く知ることができる魅力的な情報取材により収集しています。収集した情報を基に、Q&Aや先輩社員の写真入りでの声、キャリア形成イメージ、インターンシップ実施内容などをデータベース化し、インターネットによる情報提供を行っています。
- ・ さらに、企業の魅力を掲載した冊子「みえの企業まるわかりNAVI（平成28年度版）」（15社を掲載）やブックマーク（本のしおり）を作成し、インターネットサイトへの誘導を図るとともに、これから就職活動が始まる大学3年生を主な対象とし、若者が企業を理解するためのイベント「企業の魅力発見フェア」の開催に取り組んでいます（11月：四日市市、12月：津市）。

(3) 第10次三重県職業能力開発計画（最終案）について

1 計画策定の経緯、最終案までの検討状況

都道府県職業能力開発計画は、国の職業能力開発基本計画に基づき、都道府県の区域内において行われる職業能力開発に関する基本的な方向付けを与える計画であり、法律により策定に努めることとされています（職業能力開発促進法第7条第1項）。

平成28年4月28日に策定された国の「第10次職業能力開発基本計画」（計画期間：平成28～32年度）に基づき、「第10次三重県職業能力開発計画」の策定を進めており、10月～11月にパブリックコメントを実施し、最終案をとりまとめました。

【検討状況】

平成28年6月22日	・戦略企画雇用経済常任委員会
平成28年7月6日	・三重県職業能力開発審議会（計画（骨子案）の審議）
平成28年8月	・計画（中間案）について関係機関及び三重県職業能力開発審議会委員へ意見照会
平成28年10月5日	・戦略企画雇用経済常任委員会
平成28年10月6日 ～11月7日	・計画（中間案）についてパブリックコメントの実施（意見なし）
平成28年11月28日	・三重県職業能力開発審議会（計画（最終案）の審議）

2 計画（中間案）からの修正内容

○計画本文の修正

第3章の基本的施策<2「全員参加の社会の実現加速」に向けた職業能力底上げの推進>の(2)「障がい者への支援の充実」において、障がいの特性その他心身の状態に応じた支援の必要性、医療・福祉・労働の各関係機関の連携による取組の必要性に関して、より明確に示すための追記を行いました（本文P28）。

○統計データの時点修正

第2章において、直近のデータに基づきデータの更新、追加を行いました。

3 計画の進捗管理

当計画に基づいて実施する事業の評価は、「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」のPDCAサイクルと連動させ、目標達成に向けた的確な進捗管理を行います。

第10次三重県職業能力開発計画（最終案）の概要

第1章 総説

1 計画のねらい

人口減少社会の到来や、グローバル化の進展等により就業環境は大きく変化し、労働力不足への対応や技術革新等による生産性の向上などが新たな課題となっています。これらの課題の解決に向けては、企業ニーズと求職者個々の特性に応じた多様な職業能力開発の機会の確保が必要です。あわせて、労働力の「量」の不足に対応するため、多様な働き方の選択肢を広げていくとともに、労働力の「質」の向上のため、ワーク・ライフ・バランスの推進による「働き方改革」を進めることが重要となります。当計画は、こうした社会経済の変化等を見据え、働く意欲のある若者、障がい者、女性、高齢者等の様々な方々が、就職や技能向上のために必要な職業能力開発に取り組むことにより、地域経済が発展し、いきいきと働くことができる三重県をめざして策定するものです。

2 計画の性格

都道府県職業能力開発計画は、国の職業能力開発基本計画に基づき、都道府県の区域内において行われる職業能力開発に関する基本的な方向付けを与える計画であり、職業能力開発促進法第7条第1項により策定に努めることとされています。

3 計画の期間

平成28年度から平成32年度までの5年間

第2章 職業能力開発をめぐる社会・経済の状況

雇用情勢は改善傾向にある一方で、非正規労働者の増加などの状況から、引き続き、雇用のセーフティネットとしての職業能力開発が必要です。また、人口減少による地域経済の縮小等の社会・経済状況の変化に対応するため、生産性向上に向けた職業能力開発の強化が求められているとともに、多様な働き方やワーク・ライフ・バランスの推進など「働き方改革」にも配慮した職業能力開発が必要です。

第3章 職業能力開発施策の今後の方向性と基本的施策

1 生産性向上に向けた人材育成等の強化

【今後の方向性】

成長が見込まれる分野や、労働力の不足感が高まっている分野での人材育成に取り組むとともに、ICT等の技術進歩による就業環境の変化に対応した職業訓練を実施し、高品質の製品・サービスを提供できる人材の育成に取り組めます。

【基本的施策】

(1) 地域の創意工夫を活かした人材育成の推進

<主な取組>

- ・航空宇宙、観光、「食」関連等の今後、成長が見込まれる分野で必要とされる能力開発に取り組めます。

- ・介護・福祉、医療、建設等の労働力の不足感が高まっている分野における能力開発に取り組みます。

(2) 就業環境の変化に対応した職業能力開発の実施

<主な取組>

- ・労働生産性向上の鍵となるICT等の技術進歩に対応した職業訓練に取り組みます。
- ・離職者等を対象とした公共職業訓練や再就職に活用できる資格取得への助成に取り組みます。

(3) 生産性向上等に向けての普及啓発

- ・企業等における生産性向上や働きやすい環境づくりに向けた「働き方改革」の必要性等についての普及啓発を図ります。

2 「全員参加の社会の実現加速」に向けた職業能力底上げの推進

【今後の方向性】

若者・障がい者・女性・高齢者等の様々な人材が、その能力を存分に発揮できる「全員参加の社会の実現加速」に向け、個々の特性やニーズに応じた職業能力開発の機会を提供し、一人ひとりの能力の底上げを図ります。

【基本的施策】

(1) 若者への支援の充実

<主な取組>

- ・若者の就職支援の拠点として国と県等で一体的に運営している「おしごと広場みえ」において、就職に関する相談や情報提供など、総合的なサービスをワンストップで提供します。
- ・就職先未定のまま高校や大学、短期大学、高等専門学校等を卒業した若者や離職者への就職支援として、ビジネスマナー等の座学訓練や実地研修など多様な内容の職業能力開発の機会を提供します。

(2) 障がい者への支援の充実

<主な取組>

- ・津高等技術学校における障がい者を対象とした職業訓練や県外の障害者職業能力開発校における訓練受講により、障がい者の技能習得を支援します。
- ・地域において、障がい者の就業及びこれに伴う日常生活等を一体的に支援する障害者就業・生活支援センターや就労移行支援事業所、関係機関等の連携を図り、民間企業等において障がい者の態様に応じた職業能力開発の機会を提供し、障がい者の就労を促進します。

(3) 女性への支援の充実

<主な取組>

- ・再就職を希望する女性に対し、キャリアカウンセリング（相談対応・情報提供等）を行うとともに、県とハローワーク等の連携により就職支援を行います。
- ・ひとり親家庭等の経済的自立への支援として、看護師や介護福祉士等の資格取得に対する助成や貸付を行うとともに、ビジネスマナー等の働くための基礎的知識を加えた職業訓練を実施します。

(4) 高齢者への支援の充実

- ・地域の事業主団体と連携し、就業に必要な知識と技能の講習を実施するとともに、講習後に実施する合同面接会により就業のための指導・援助を行います。

(5) 多様な働き方の推進

- ・働くことを希望する誰もが、安心して働くことができる環境づくりを進めるため、企業等における「働き方改革」を推進する中で、多様な働き方の必要性に関する普及啓発を図ります。

3 生涯を通じたキャリア形成支援の推進

【今後の方向性】

子どもの頃から「ものづくり」に触れる機会の提供、学校におけるキャリア教育をはじめ、企業による労働者の職業能力開発への支援、個人の主体的な職業能力開発への支援など、生涯にわたるキャリア形成の支援に取り組みます。

【基本的施策】

(1) 企業による労働者の職業能力開発への支援

<主な取組>

- ・職業能力開発促進センターや津高等技術学校において、個々の企業や民間教育訓練機関では実施が困難な職業訓練を実施し、企業の人材育成を支援します。

(2) 個人の主体的な職業能力開発への支援

<主な取組>

- ・労働者が有する様々な技能を評価する制度である技能検定制度の実施や津高等技術学校における訓練等により、労働者のキャリアアップを支援します。

(3) キャリア教育の推進

<主な取組>

- ・子どもたち一人ひとりの社会的・職業的自立に必要な能力等を育成するため、教育活動全体を通じて、組織的・系統的なキャリア教育を推進します。
- ・実社会で必要とされる専門的な知識や技能を育むため、学校と地域・産業界の連携による専門性を活かした職業教育を推進します。
- ・子どもの頃から「ものづくり」に触れることで、技能に対する理解と興味を深めるため、小中学生等への体験学習を実施します。

4 技能の振興

【今後の方向性】

技能の重要性や必要性の理解を深め、技能を尊重する機運の醸成に取り組むため、国家検定制度である技能検定の実施や優秀な技能者の表彰などに関係機関が連携して取り組みます。

【基本的施策】

(1) 技能が尊重される社会づくりの推進

<主な取組>

- ・技能検定制度を推進することにより、労働者のキャリアアップへの意欲向上や企業の人材育成・適材配置等を促進し産業の振興を図ります。
- ・優秀な技能者の表彰や技能者の競技大会への参加を支援することにより、技能者の意欲向上を図るとともに、熟練した技能に対する県民の理解を深め、技能が尊重される社会の形成を促進します。

5 職業訓練に関する基盤の充実等

【今後の方向性】

職業訓練に係る機関の連携をより一層強化するとともに、職業訓練の品質確保や職業訓練指導員等の指導技術向上など職業訓練に関する基盤の充実に取り組みます。

【基本的施策】

「関係機関の連携強化」、「情報提供の充実」、「職業訓練に関する品質の確保」、「職業訓練指導員等の指導技術向上」、「ジョブ・カード制度の普及促進」、「職業能力開発に関する国の動向への対応」に取り組みます。

第4章 計画の進捗管理等

当計画に基づいて実施される事業の評価は、「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」のPDCAサイクルと連動させ、目標達成に向けた的確な進捗管理を行います。

第5章 第10次三重県職業能力開発計画関連目標

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」に定める関連施策の県民指標（着色部分）及び基本事業の活動指標（無着色部分）を、当計画の関連目標として位置付けています。

（単位：％）

事 項	27年度 (現状)	28年度	29年度	31年度
県内新規学卒者等が県内に就職した割合	73.3	73.9	74.7	76.1
おしごと広場みえに登録した若者の就職率	55.5	56.8	57.6	59.0
職業訓練入校者の就職率	74.3	78.9	79.8	81.5
多様な就労形態を導入している県内事業所の割合	50.5	51.1	52.4	55.0
民間企業における障がい者の法定雇用率達成企業の割合	55.7	56.2	62.0	62.2
民間企業における障がい者の実雇用率	1.97	2.20	2.25	2.45
女性が長く働ける環境づくりに取り組む意向を持つ企業の割合	86.0	87.0	88.0	90.0
ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる県内事業所の割合	43.9	48.0	53.5	65.0

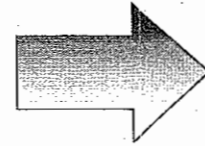
※平成30年度の目標値は平成29年10月に設定予定。

第10次三重県職業能力開発計画(最終案)の概要

人口減少社会やグローバル化の進展等に伴い、県内産業を取り巻く環境や就業環境が変化中、人々が能力を高め、その能力を存分に発揮することにより、個々の労働者の技能向上と産業を担う人材の育成・確保が求められています。当計画は、持続的な県内産業の発展を支え、労働者の職業生活の安定を目的とし、個々の特性や社会ニーズに応じた職業訓練等を一層充実させるための職業能力開発施策の基本的方向を定めるものです。

社会・経済情勢

- 人口減少社会の到来
- グローバル化の進展
- IoT、ロボット、ビッグデータ解析、AI等の技術進歩
- 経済のサービス化による産業構造の変化やインバウンド増加等による国際化等を背景としたビジネス環境、就業環境の変化
- 雇用情勢の改善の一方、幅広い産業における労働力の不足感の高まり
- 若者の県外流出の増加
- 非正規労働者の増加、若年無業者・フリーター等の割合の高止まり
- 障害者雇用率の改善
- 女性、高齢者の活躍の促進
- 子育てや介護を原因とする離職者の増加
- 企業における人材の確保・育成ニーズの拡大



課題

- 一人ひとりの労働者の付加価値創出力の向上(生産性の向上)
- ICT等の技術進歩に対応できる人材の育成
- 成長が見込まれる分野や労働力の不足感が高まっている分野等での人材育成
- 産業界のニーズに応じた人材の育成
- 雇用保険を受給できない人への支援
- 若年無業者・フリーター等の若者に対する職業的自立支援
- 若者のU・Iターンの促進
- 障がい者の就労に向けた多面的な支援
- 女性、高齢者の就業支援、女性活躍の機運醸成と環境整備
- 職業キャリア形成に対する支援
- 求人・求職のミスマッチの解消
- 技能の向上や継承への支援
- 企業の人材育成への支援
- 企業における「働き方改革」の推進

多様な働き方やワーク・ライフ・バランスの推進など「働き方改革」にも配慮した職業能力開発

第10次三重県職業能力開発計画の今後の方向性と基本的施策の展開

1 生産性向上に向けた人材育成等の強化

- (1) 地域の創意工夫を活かした人材育成の推進
 - ① 地域産業のニーズに合わせた担い手となる人材を育成する職業訓練の実施
 - ② 航空宇宙等の成長が見込まれる分野で必要とされる能力開発の実施
 - ③ 介護・福祉、医療、建設等の労働力の不足感が高まっている分野における能力開発の実施
 - ④ 専修学校等の民間教育訓練機関への委託形式による職業訓練の推進
 - ⑤ 産学官の地域コンソーシアムにおける就職の可能性を高める職業訓練コースの開発・検証
- (2) 就業環境の変化に対応した職業能力開発の実施
 - ① ICT等の技術進歩に対応した職業訓練の実施
 - ② 離職者等を対象とした公共職業訓練や資格取得への助成の実施
 - ③ 雇用保険を受給できない人を対象とした職業訓練制度の推進
 - ④ 関係機関の協議を踏まえた職業訓練の推進
- (3) 生産性向上等に向けての普及啓発
 - ① 企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組の普及啓発

2 「全員参加の社会の実現加速」に向けた職業能力底上げの推進

- (1) 若者への支援の充実
 - ① 就職支援の拠点である「おしごと広場みえ」の機能の充実
 - ② 高校生や大学生等への県内企業の現場見学などの機会の提供
 - ③ 新卒未就職者や離職者への職業能力開発機会の提供
 - ④ 自立が困難な若者を対象とした包括的な支援体制の整備
 - ⑤ 県外大学との連携等によるU・Iターン就職の促進
 - ⑥ インターンシップ等における県内大学等との連携
- (2) 障がい者への支援の充実
 - ① 津高等技術学校における職業訓練の実施
 - ② 地域の障がい者支援機関等と連携し、障がい者の態様に応じた職業能力開発の機会を提供
 - ③ 障がいのある子どもたちへのキャリア教育の推進
 - ④ 企業の現場見学等の機会を提供
 - ⑤ 企業や行政現場での実習や就業体験の機会を提供
 - ⑥ 三重障害者職業センターにおける職業準備支援
- (3) 女性への支援の充実
 - ① 育児・介護等で長期に離職した女性やひとり親家庭等への相談・情報提供・研修等の実施
 - ② 資格取得に対する助成や貸付と職業訓練の実施
 - ③ 女性活躍推進に向けた県内企業等への啓発と取組の促進
- (4) 高齢者への支援の充実
 - ① 地域の事業主団体と連携した講習の実施
- (5) 多様な働き方の推進
 - ① 多様な働き方の選択肢が得られるための啓発

3 生涯を通じたキャリア形成支援の推進

- (1) 企業による労働者の職業能力開発への支援
 - ① 公共職業能力開発施設における在職者訓練の実施
 - ② 従業員のキャリア形成を行う企業に対する情報提供及び支援
 - ③ 中小企業団体等が職業訓練を実施する際の経費の助成
- (2) 個人の主体的な職業能力開発への支援
 - ① 指定の資格取得講座の受講者に対する受講経費の助成
 - ② 技能検定制度を活用した技能の評価や津高等技術学校における訓練等の実施
- (3) キャリア教育の推進
 - ① 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成
 - ② 学校と地域・産業界が連携した職業教育の推進
 - ③ 働く上での基本的なルールの周知
 - ④ 幼少期における就業体験の実施
 - ⑤ 技能・技術職分野における若者への技術継承の推進
 - ⑥ 県立工業高校への専攻科の設置
 - ⑦ 外国籍の子ども等の職業に関する学習への支援

4 技能の振興

- (1) 技能が尊重される社会づくりの推進
 - ① 技能検定制度の推進
 - ② 優秀な技能者の表彰
 - ③ 工業高校の生徒等に対する技能検定制度の活用促進
 - ④ 高等学校卒業生等を対象とした職業訓練の実施

5 職業訓練に関する基盤の充実等

- (1) 関係機関の連携強化
- (2) 情報提供の充実
- (3) 職業訓練に関する品質の確保
- (4) 職業訓練指導員等の指導技術向上
- (5) ジョブ・カード制度の普及促進
- (6) 職業能力開発に関する国の動向への対応

(4) 首都圏営業拠点「三重テラス」について

首都圏営業拠点「三重テラス」は、伊勢志摩サミットの開催後も、引き続き来館者数は順調に推移しており、平成28年11月19日に来館者200万人を達成し、11月末までの累計来館者数は2,020,343人となっています。

三重テラスはオープンから3年が経過し、「三重テラス」に関する県と運営事業者との契約期間が平成30年3月31日までの5年間であることから、アドバイザーボード等において有識者の意見をいただきながら、三重テラスの運営に関する総括評価を行います。今年度中に今後の方向性を見定めることとし、今回、12月時点での三重テラスに関する総括評価の中間報告をお示しいたします。

1 トピックス

(1) リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック日本代表選手団合同パレード開催に合わせた記念イベントの実施

10月7日に東京日本橋、三重テラス前、中央通りで開催されたパレードに合わせ、三重県出身メダリスト3名の方々をはじめ、オリンピック・パラリンピック参加選手の栄誉をたたえる記念イベントを実施するとともに、三重県及び三重テラスのPRを行いました。

- 2階イベントスペースを合同パレードの観覧場所として開放(先着80名程度)
 - 2階窓へのメッセージ(県出身メダリスト3名のそれぞれのお名前と「夢と感動をありがとう!」)の貼付
 - メダリスト3名の出身市町にちなんだ記念商品セットの販売
- パレードの開催に伴い、複数の在京テレビ局等において、三重テラスでの準備や当日の様子が紹介され、三重県及び三重テラスのPRにつなげました。

(2) 伊勢志摩サミット開催記念「おかげさま祭」第2弾『秋の収穫感謝祭』の実施

来館者の方々、そして三重テラスを支えていただいている多くの方々への感謝の意を込めて、10月22日、23日の2日間、「秋の感謝祭」を実施しました(参考:【第1弾】「三周年記念感謝祭」(9/22~28))。

- 多度雅楽会による、伊勢神宮でも上演される舞楽(ぶがく)の披露(10/22)
- 「実りの秋 野菜バル」の開催(10/23)
 - ・三重テラスレストラン料理長によるイタリアンレシピの紹介や試食など、三重の野菜を美味しく食べる簡単アレンジメニューの紹介
 - ・三重の野菜や、極早生みかん、蓮台寺柿等の果物の販売
 - ・四日市萬古焼の植木鉢を使った、鉢植え野菜づくり講座の開催
 - ・「ええとこやんか三重 移住相談センター」in 三重テラス(ミニトーク、移住相談会)の開催

(3) 他県アンテナショップとの連携

三重テラスの発案により、伊勢志摩サミット関係閣僚会合が開催された各県のアンテナショップが連携を深め、サミットのレガシーを生かして広く情報発信するため、10月29日に「お国自慢 地酒サミット」を実施しました。

- 各県アンテナショップお薦めの地酒の試飲・販売
 - ・三重テラスでは、「半蔵 純米吟醸ひやおろし原酒(大田酒造:伊賀市)」「酒屋 八兵衛 純米ひやおろし(元坂酒造:大台町)」の試飲・販売
- お薦めの地酒に合うおつまみの試食・販売

2 アドバイザリーボードの意見

11月8日に「三重テラス運営にかかるアドバイザリーボード」を開催し、運営状況等に関する評価・助言をいただきました。

構成委員（敬称略）

田中 章雄（株式会社ブランド総合研究所 代表取締役） ※座長
力石 寛夫（トーマス アンド チカライシ株式会社 代表取締役）
田嶋 雅美（株式会社フランチャイズアドバンテージ 代表取締役/CEO）
手島麻記子（株式会社彩食絢美 代表取締役）
田中 里沙（株式会社宣伝会議 取締役 メディア・情報統括）
朝倉はるみ（淑徳大学経営学部観光経営学科准教授）

○ アドバイザリーボード委員からの主な意見

- ・三重テラスのイベントスペースは、首都圏営業拠点という位置付けにあり、他のアンテナショップとは性格が異なることを明確に打ち出す必要がある。
- ・イベントスペースの活用事例を積み重ね、それらから得られるノウハウを市町等へフィードバックするとよいのではないか。
- ・魅力的なレストランにするため、ブランディングに力を入れるべき。
- ・潜在的に利用者となりうる層に向けたレストランの発信力が弱い。こんな楽しい時間の使い方があるんですよ、といった利用シーンを喚起する発信があるとよい。
- ・ランチ・カフェ・ディナーの各時間帯におけるレストランスタッフの働き方や心構えは異なるので、変えていかないといけない。それを浸透させる教育が必要ではないか。

3 首都圏営業拠点「三重テラス」の総括評価（中間報告）

三重テラスの総括評価では、成果を評価する4つの指標（来館者数、商品開発や販路拡大につながった件数、三重テラスサポート会員数、メディア掲載件数）など主要指標の状況、情報発信、事業者支援やネットワーク拡大などの取組状況、関係者からの評価、費用対効果など、これまでの運営状況と課題を整理し、今後の方向性をまとめることとしています。

総括評価（中間報告）については、別紙2、別冊2のとおりです。

(1) 総括評価の進め方

三重テラスの総括評価については、アドバイザリーボード等において有識者の意見、来館者、市町、商工団体及び県内事業者等の声をいただくとともに、情報発信等のこれまでの取組に係る経済効果など費用対効果の調査・検証を行いながら進めています。

(2) 今後のスケジュール

アドバイザリーボード等における有識者の意見をふまえて、総括評価（最終報告）をとりまとめるとともに、戦略企画雇用経済常任委員会においてご説明のうえ、今後の方向性を見定めていきます。

平成29年2月	第4回三重テラスの運営に関するアドバイザリーボード
3月	戦略企画雇用経済常任委員会において最終案を説明
3月	総括評価とりまとめ、公表

4 今後の展開

引き続き、アドバイザリーボードからの意見等をふまえ、伊勢志摩サミットのレガシーの一つである「知名度の向上」を最大限に生かした首都圏における三重県情報の強力な発信、さらなる三重テラスへの集客促進とコアな三重ファンづくり、継続的な運営改善に努め、常に旬の魅力を感じていただける店舗づくりに取り組めます。
また、三重テラスの総括評価（最終報告）をとりまとめます。

三重テラスの運営状況について (9月~11月)



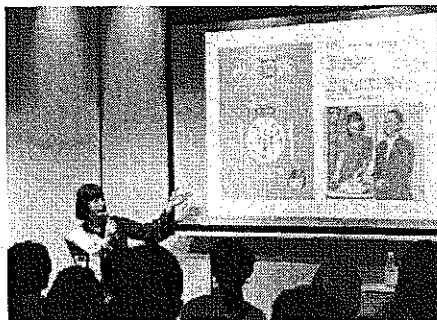
MIE TERRACE

- ・オープン以来の来館者数累計は 2,020,343人(平成28年11月末現在)であり、11月19日に来館者200万人を達成しました。
- ・ショップ、レストラン、イベントスペースにおいて、三重の旬の魅力や季節行事・イベントに対応した情報を発信し、三重への誘客や販路拡大につながる取組を展開しています。

TOPICS

伊勢志摩サミット開催記念・おかげさま祭第1弾 三重テラス三周年記念感謝祭 (9月22日~28日)

9月28日のオープン3周年を記念して、9月22日から28日に「三重テラス三周年記念感謝祭」を開催しました。
 「三重テラス一日店長」、「COOL MIE スペシャルトークライブ & 伊勢海老漁解禁！イベント」、「赤福茶屋」、「三重の応援団のつどい」等の多彩なイベント、レストランにおける旬の特別メニューの提供等を実施しました。
 [9/22~28の来館者数 19,380名]

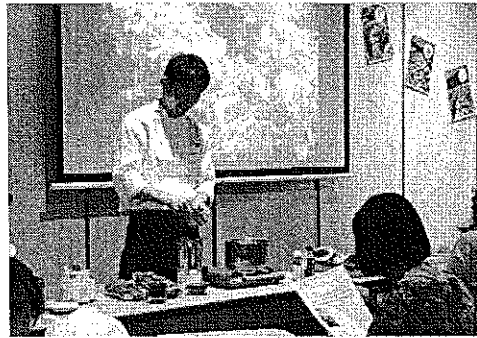


みえの国観光大使 夢眠ねむさんによる
 三重テラス一日店長(9/22)



赤福茶屋(9/24)

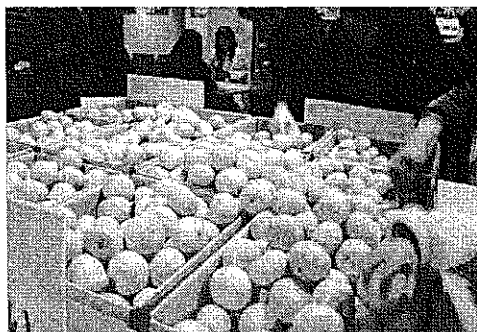
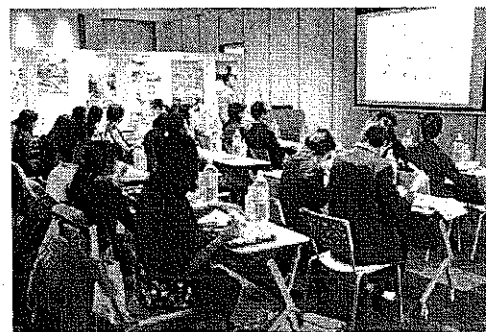
イベントスペース



○まこもな夜~菰野の真菰で「ゆる薬膳」~ (9月14日)
 > 菰野町の特産品マコモタケを使用した「まこも薬膳料理」が食べられるトークイベントを開催。湯の山温泉の女将も参加し観光PRを実施。[60名参加]

○リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック日本代表選手団合同パレードに合わせた記念イベント(10月7日)
 > パレード観覧場所としてイベントスペースを開放。先着80名に整理券を配布。2階席に、三重県の3名のメダリストの名前と、「夢と感動をありがとう！」とのメッセージを掲出。

○おかげさま祭第2弾 秋の収穫感謝祭 (10月22日~23日)
 > 22日は、多度雅楽会による「秋の雅楽」を披露。23日は、「野菜バル」を開催し、三重の野菜を美味しく食べるメニュー紹介や、伊賀に移住して農業に取り組む唐澤寿江さんのミニトークを開催。[617名参加]



○伊勢志摩サミット開催記念企画
 お国自慢 地酒サミット(10月29日)
 > 三重テラスと伊勢志摩サミット関係関係会合を開催した10県のアンテナショップの連携により、各県が選りすぐった地酒の試飲及び販売を実施。[715名参加]

○ふるさと納税南部まるごとカフェ (11月5日~6日)
 > 県南部13市町によるふるさと納税のPRイベント。首都圏の人々と地域を結びきっかけづくりとして、それぞれの特産品を生かしたメニュー等を提供。[241名参加]

○東紀州ミカン祭りin三重テラス (11月19日~20日)
 > 三重ブランド認定「南紀みかん」やオレンジとレモンをかけた「マイヤーレモン」、熊野市特産の「新姫」など、東紀州地域の秋の味覚をPR。[573名参加]

TOPICS

ショップ

【9月】

- 伊勢志摩サミットを記念して、伊勢海老のクリームスープやオリジナルジャムなど志摩観光ホテル関連商品コーナーを設置(9/2~)
- 土・日・祝日に、県内各地の銘菓を特別販売する「銘菓街道in三重テラス」を展開(9/3~)
- 旬を迎えた農産物(極早生みかん、新姫、蓮台寺柿など)の特別入荷販売
- 三重テラス三周年記念感謝祭イベントの一環として、赤福餅の期間限定特別販売(9/24~9/25)

【10月】

- リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック日本代表選手団合同パレード開催に合わせて、三重県の3名のメダリストの出身地にちなんだ記念商品セットを販売(10/7)
- 日本橋三越本店で開催された「三重展」に出展(10/12~10/17)
- 日本橋地域のイベントにおいて三重テラスをPR(日本橋恵比寿講べつたら市に出展)(10/19~10/20)
- 冬の贈り物カタログギフトの販売開始(10/21~2/28)

【11月】

- 年末商戦に向けた商品の取扱い開始(伊勢注連縄や松阪肉の予約販売)



志摩観光ホテル関連商品コーナー



銘菓街道in三重テラス(へんば餅)



伊勢海老と三重県産ムール貝とアサリのスープ仕立て

レストラン

【9月】

- グランドメニューの変更。伊勢志摩サミットコースは継続して提供
- 忘年会の利用案内を開始

【10月】

- 伊勢海老漁解禁に合わせた伊勢海老づくし特別メニューの提供
- 10月1日の「日本酒乾杯の日」に参加し、レストランのお客様に地酒をふるまい
- レストランの回転率を高めるため、早割(17:00~17:30の間にスタートする場合)・遅割(20:30以降にスタートする場合)プランを導入
- 伊勢市のイベントに連動させたメニュー(蓮台寺柿のタルトタンなど)の提供

【11月】

- 「黒トリュフ香るローストビーフ」の販売を開始(11/1~)
- 牡蠣フェアを開始(11/2~)
- 忘年会・クリスマス予約受注に向けたPRの強化

DATA

1. 来館者状況

(単位:人)

	25年度計	26年度計	27年度計	H28.4	5	6	7	8	9	10	11	28年度計	累計
ショップ	227,655	480,839	569,942	48,913	62,416	50,181	53,989	56,355	54,451	55,975	46,988	429,268	1,707,704
レストラン	17,033	34,317	30,581	2,126	2,620	2,676	3,011	2,954	2,995	2,666	2,596	21,644	103,575
イベントスペース	30,555	51,365	73,733	9,583	6,050	5,440	5,500	8,398	5,220	8,620	4,600	53,411	209,064
合計	275,243	566,521	674,256	60,622	71,086	58,297	62,500	67,707	62,666	67,261	54,184	504,323	2,020,343
一日当たり平均	1,521	1,569	1,852	2,021	2,293	1,943	2,016	2,184	2,089	2,170	1,806	2,067	1,757

2. 売上状況

(税込・単位:千円)

	25年度計	26年度計	27年度計	H28.4	5	6	7	8	9	10	11	28年度計	累計
ショップ	60,616	103,695	142,438	11,655	14,398	12,718	10,445	10,637	13,042	11,567	11,239	95,701	402,450
レストラン	46,030	96,513	106,107	7,596	8,598	9,659	10,542	9,859	9,903	9,216	9,354	74,729	323,379
合計	106,646	200,208	248,546	19,251	22,996	22,378	20,987	20,496	22,945	20,783	20,594	170,430	725,830
一日当たり平均	589	555	683	642	742	746	677	661	765	670	686	698	631

* 数値は速報値であり、今後修正が生じる可能性があります。

* 端数処理の関係上、合計が一致しない部分があります。

I 首都圏営業拠点「三重テラス」の概況

Iでは、三重テラスの概況として、所在地や運営体制といったプロフィールについて整理します。

1 所在地等

- ・住所: 東京都中央区日本橋室町二丁目4-1
- ・占有: 135.08坪 (446.55㎡) (1階 62.70坪、2階 72.38坪)

2 運営体制

- ・運営主体: 三重県
- ・運営事業者: 株式会社アクアプランネット(松阪市)



三重テラス全景

II 設置目的

IIでは、本総括評価の目的を述べた上で、首都圏において販路拡大や観光誘客といった営業活動を展開するための拠点として整備した、三重テラスの設置目的について、改めて、基本コンセプトと基本的機能を示しながら整理します。

1 本報告書（検証）の目的

施設の不動産賃貸借契約及びショップ・レストランの運営委託契約が平成29年度までであるため、これまでの三重テラスの運営にかかる効果や課題等について検証し、今後の方向性を検討

2 三重テラスがめざすもの

(1) 設置目的

三重の「食」や「観光」、「歴史」、「伝統」、「文化」などさまざまな魅力の効果的な情報発信や、「三重ファン」の積極的な拡大、さらには県産品の販路拡大や誘客の増加をめざすため、首都圏に営業拠点を整備

(2) 基本コンセプト

- ① 三重の文化にふれてもらうおもてなしの場
- ② 三重への旅のきっかけ、準備を提供する場
- ③ 三重への共感を呼ぶ三重ファンづくりの場
- ④ 三重県民、県出身者などが「自分ごと」として活用できる場

(3) 基本的機能

- ① 「食を提供する機能」
- ② 「商品を買っていただく機能」
- ③ 「三重の魅力を体験できる機能」
- ④ 県内への「誘客・集客機能」
- ⑤ 県内企業を支援する「トライアル機能」
- ⑥ 三重に関わる人々を増やしていく「ネットワーク機能」

III 運営状況と評価

IIIでは、三重テラス設置以降の運営状況、目標の達成状況等について整理を行うとともに、来館者や市町・団体等からの評価、アドバイザーボード委員等からの意見を掲載するほか、運営を通じての経済効果等について示します。

1 運営状況と実績

(1) 主な指標の状況

- ・平成27年度まで4つの成果指標の全てで目標を達成。平成28年度についても達成見込み
- ・平成28年11月19日に来館者200万人を達成。特に、サミットの開催地が伊勢志摩に決定した平成27年6月以降、来館者数はほぼ毎月、対前年同月の来館者数を上回って推移し、好調を維持
- ・設置以来の売上額は、ショップが約4億円、レストランが約3億2千万円の約7億2千万円 (H28.11末)

・リピーター率の増加 43% (H26) → 60% (H27)

○来館者数 (H28.11末)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
目標値 (単年度)	11万人	26.4万人	58万人	59万人	60万人
実績値 (単年度)	27.5万人	56.7万人	67.4万人	50.4万人	
実績値 (累計)	275,243人	841,764人	1,516,020人	2,020,343人	

○商品開発や販路拡大につながった件数 (H28.11末)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
目標値 (累計)	10件	50件	90件	130件	170件
実績値 (累計)	38件	67件	113件	170件	

○三重テラスサポート会員数 (H28.11末)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
目標値 (累計)	1,350	4,490	7,020	9,585	12,185
実績値 (累計)	1,359	4,551	7,475	9,741	

○メディア掲載件数 (H28.11末)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
目標値 (単年度)	30件	30件	30件	30件	30件
実績値 (単年度)	89件	60件	61件	87件	
実績値 (累計)	89件	149件	210件	297件	

(2) 機能別の運営状況(ショップ)

- ・季節や歳時と連動させ、常時約1,300点の商品を品揃え

(3) 機能別の運営状況(レストラン)

- ・伊勢えびや牡蠣、松阪牛など旬や郷土色を生かしたメニューを提供

(4) 機能別の運営状況(イベントスペース)

- ・「歴史」、「文化」、「食」、「旅」等の三重の魅力を首都圏の方々にPRイベントスペースを活用した情報発信は、三重テラスの大きな特徴かつ強み
- ・設置以来のイベント件数: 610件、稼働率: 89.2% (H28.11末)



ショップ
(伊勢志摩サミットありがとうキャンペーン)



COOL MIEスペシャルトークライブ

首都圏営業拠点「三重テラス」総括評価（中間報告）の概要について（2/2）

(5) 情報発信の状況

- ・これまで首都圏でのメディア（テレビ、ラジオ、新聞、雑誌）掲載実績は297件（H28.11末）
- ・フェイスブックの「いいね」の件数は20,494件。首都圏にある自治体アンテナショップの中で最多（H28.11末）

(6) 事業者支援の状況

- ・商品開発（49件）、商品ブラッシュアップ（54件）による販売促進（H28.11末）
- ・テストマーケティング（85件）によるトライアル機能の強化（H28.11末）

(7) 県内への観光誘客の取組状況

- ・「みえ旅案内所」を設置し、「みえ旅パスポート」及び「みえ食旅パスポート」を発給（みえ旅パスポート：2,601冊、みえ食旅パスポート：1,198冊）（H28.11末）
- ・多岐にわたる三重県への旅行相談に対応（H27：77件/月、H28：132件/月）（H28.11末）
- ・2階イベントスペースで、誘客促進につながるイベントを120回以上開催（H28.11末）

(8) ネットワーク拡大の状況

- ・個人会員の「三重の応援団」（3,928名）、法人会員の「三重の応援企業」（83社）、県産品の取扱いや情報発信にご協力いただく「三重の応援店舗」（97店）を制度化し加入を促進（H28.11末）

(9) お客様や県内事業者等からの評価

（来館者）

- ・「三重テラスを通じて三重県の魅力を感じた人」の割合 … 95.0%（H27）
- ・「三重テラスを通じて三重県に行ってみたく感じた人」の割合 … 96.0%（H27） 等

（市町・団体等）

- ・「三重テラスは、首都圏で事業を始めるきっかけとして重要な役割を果たしている。」 等

（事業者）

- ・「三重テラスへの出品を通じて、首都圏での知名度が高まった。口コミの広がりもあり、販路拡大につながった。」 等

（日本橋関係者）

- ・「三重テラスは、地域の行事への関与が突出しており、シンパシーを感じる。」 等

(10) 全国調査での位置づけや専門機関・専門誌からの評価

- ・「OMOTENASHI NIPPON（おもてなしニッポン）」が企画する、日本の優れた商品・サービスを認定し、世界に向けて発信するプログラムである「OMOTENASHI Selection（おもてなしセレクション）2014」を、三重テラスが受賞。過去2回の運営の中で、アンテナショップや自治体としての受賞は三重テラスのみ（H27.2）
- ・他県からの評価（日経グローバル調査）として、三重テラスは「気になる」部門で3位、「展示が上手」部門で2位、「見習いたい」部門で3位と、上位にランキング（H28.3）

(11) アドバイザリーボード委員からの主な意見

- ・「三重テラスは、三重の「食」や「文化」などのテーマを通じた「三重のプラットフォーム」であるべき。市場競争の観点だけではなく、ここを舞台として三重に関わる人々が集い、交流し、新しい発見が生まれる場としての「三重テラス」の存在意義や将来価値を意識した取組が必要である。」 等

→今後、平成29年2月に開催予定のアドバイザリーボードにおいて、さらなる意見聴取を行う予定です。

(12) 費用対効果

- （費用） ・平成25年度から平成27年度までに要した費用の総計は、約6億3,421万円
※参考：平成28年度における費用（当初予算ベース） 約1億3,964万円

- （効果） ・首都圏でのメディア掲載に伴う広告換算効果 約11億5,573万円（H25～H28.11）

→経済効果については、今後、民間による経済効果等の測定を実施することにより、最終報告において、改めて推計結果をお示しする予定です。

2 課題

(1) 魅力的な営業拠点づくり

（ショップ）

- ・生鮮品の販売機会の増に関する検討、試食等の販売方法の工夫等による販売促進、旬の魅力に訴求する新たな商品の発掘が必要 等

（レストラン）

- ・三重の魅力印象づけるメニューの開発や、産地を身近に感じられるメニュー展開が必要 等

（イベントスペース）

- ・2階イベントスペースと1階ショップ・レストランとの連携取組に引き続き取り組むことが必要 等

(2) おもてなし、ホスピタリティの向上

- ・お客様志向で良い時間・空間を提供するため、スタッフ間のコミュニケーションをさらに促進していくことが必要 等

(3) コアな三重ファンのさらなる増加と連携強化

- ・これまでネットワークの拡大を主にめざしてきたが、今後、連携強化にも注力していくことが必要 等

(4) 質の高い情報発信

- ・コアな三重ファンを作ることにより、口コミやSNSなどによる三重の魅力の情報発信の機会を増やしていくことが必要 等

(5) 販路拡大につながる事業者支援

- ・引き続き、商品のブラッシュアップ支援、テストマーケティング、県内事業者の販路拡大のチャレンジ支援など、事業者支援の視点からフォローアップに努めることが必要

(6) ネットワークの拡大と強化

- ・日本橋地域の幅広い顧客の獲得に向け、周辺施設、地域の団体等とのさらなる連携に取り組んでいくことが必要 等

(7) 県の費用負担の軽減

- ・県の費用負担の軽減、運営事業者が県に納付する納付金の妥当性について検討していくことが必要

IV 今後の方向性

IVでは、「Ⅲ 運営状況と評価」をふまえ、今後予測される環境変化等も加味した上で、本総括評価における検証結果をまとめます。

1 首都圏での営業活動において今後予測される環境変化

(1) 首都圏（東京）に世界からの注目が集まる機会の到来

- ・全世界からの注目が集まる東京オリンピック・パラリンピックは、首都圏から世界に向けて情報発信を行う絶好の機会

(2) 首都圏及び日本橋地域における人口動態の将来予測

- ・総人口に占める首都圏人口の割合、日本橋地域の人口は、いずれも将来にわたり増加するとの予測。首都圏での情報発信の重要性は今後も上昇

(3) 日本橋地域の周辺環境の変化

- ・日本橋地域の再開発に伴い、従来の老舗百貨店顧客層に加え、流行や情報に対する感度の高い30代～40代の女性など幅広い客層が往来を重ねると予測

2 三重県の営業活動の方向性

3 検証結果

(5) みえリーディング産業展 2016 の開催結果について

1 概要

- (1) 日 時 平成28年11月11日(金) 10時～17時
平成28年11月12日(土) 10時～16時
- (2) 場 所 四日市ドーム
- (3) 主 催 みえリーディング産業展 2016 実行委員会
- (4) 出展者数 202小間 [27年度: 222小間]
- (5) 来場者数 4,941名 [27年度: 4,815名]

	11月11日(金)		11月12日(土)		合 計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
企業関係者	1,650	59.3	645	29.9	2,295	46.5
一 般	634	22.8	1,368	63.4	2,002	40.5
学 生	376	13.5	75	3.5	451	9.1
その他	123	4.4	70	3.2	193	3.9
合 計	2,783	100.0	2,158	100.0	4,941	100.0

(参考) 27年度内訳: 企業関係 2,177人(45.2%)、一般 1,912人(39.7%)、学生 388人(8.1%)

地域に根差した産業展示会として、企業関係者、一般消費者、学生を主要ターゲットに、三重県の産業や企業の製品、技術、サービスをアピールすることで新規顧客の開拓や、人材を確保することを目的に、金曜日・土曜日の二日間で開催しました。

来場者数は4,941人と昨年度より126人(2.6%)増加しました。

(6) マスコミ取材

朝日新聞、毎日新聞、中日新聞、伊勢新聞、日刊工業新聞、中部経済新聞、東海テレビ、三重テレビ、シー・ティー・ワイ、三重エフエム(計10社)

2 開催内容

(1) 各種セミナー(両日)

① セミナー名: 中小企業ビジネスチャンス拡大セミナー

テーマ: 中小企業世界発信プロジェクト2020 ～東京2020大会等を契機とした飛躍のために!～

講師: (公財) 東京都中小企業振興公社 事業戦略部 次長 二瓶 伸氏 ほか

② セミナー名: みえICTセミナー

テーマ: IT等の利活用促進に向けた取組について ほか

講師: (一社) 日本情報経済社会推進協会 常務理事 坂下 哲也氏 ほか

③ セミナー名: 女性活躍推進セミナー

テーマ: 女性活躍推進のためのイクボスについて

講師: 第一生命保険(株) 三重支社 営業推進統括部長 中村 忠氏

④ セミナー名: 保護者向け就職セミナー

テーマ: 今年の就活の振り返りと、保護者ができる就職支援活動について

講師: (株) O-GOE 代表取締役 杉山 豊氏

など、来場者向けに合計13件のセミナーを開催しました。

(2) 個別商談会(両日)

製造業、商社、百貨店、レストラン、スーパーなど県内外の12社から、自社の求めるニーズを公開していただき、受注を希望する県内の企業や生産者38社が参加して、個別面談方式の商談会を開催しました。(商談件数58件)

(3) 学生・若者と企業の出会い「企業の魅力発見フェア」(両日)

県内の人材確保や、若者の地元定着を支援するため、学生や若者が県内企業の魅力を知るための「みえリーディング産業展見学ツアー」等を実施しました。(参加者数46人)

(4) 三重のおもてなし経営企業選等の表彰(11日)

顧客、社員、地域との関わりを大切にしながら、素晴らしい経営を行う企業を顕彰する「三重のおもてなし経営企業選表彰」に選定された企業4社を知事表彰するとともに、特典として、自社のPRブースを特別出展していただきました。

また、「産業功労者表彰」及び「男女がいきいきと働いている企業表彰」の知事表彰を行いました。

(5) 燃料電池自動車等の展示(両日)

次世代エネルギーとして注目される水素を紹介するため、トヨタとホンダの燃料電池自動車、移動式水素ステーション車両のほか、スマートコミュニティを紹介するジオラマ等を展示しました。

(6) 3Dブロックロボ組み立て体験(12日)

子どもの科学への興味を深めるため、自分で「ブロックロボ」を組み立て、動かすことができる体験イベントを開催しました。

(7) お伊勢さん菓子博2017開催記念クイズ大会(11日)

来年4月～5月に開催される「第27回全国菓子大博覧会・三重(お伊勢さん菓子博2017)」(以下、菓子博という)のPRのため、お菓子や菓子博に関するクイズ大会を実施しました。2回の開催で計196名の子どもたちの参加があり、上位入賞者には菓子博グッズ等をプレゼントしました。

(8) その他(両日)

今年5月に開催された伊勢志摩サミットの様子を伝える写真パネル展示や、障がい者就労支援を目的とした弁当や物品の販売、中小企業の相談に応じる「よろず相談コーナー」等の設置、ご当地キャラの「北伊勢DEもてなし隊」による観光PR、企業と連携した全日本製造業コマ大戦(G2近畿ブロック大会)を開催しました。

また、12日には、本県に来訪していた中国・河南省代表团(21名)が視察されました。

3 アンケート集計結果【速報値】

出展成果(出展者による回答)

- | | |
|---------|-------|
| ① 非常に満足 | 15.6% |
| ② やや満足 | 35.5% |
| ③ 普通 | 34.9% |
| ④ やや不満 | 13.5% |
| ⑤ 非常に不満 | 0.5% |

4 参加者の主な声

【出展者】

- ・企業アピールの場として絶好の機会となり、大変有意義な時間となった。
- ・新しい出会いにつながる可能性があるので、良いのではないのでしょうか。
- ・多くの方に来ていただくと良いと思います。

【来場者】

- ・各企業のほか、商工会やサミットパネル展示会等、三重の産業や情報も見ることができ、楽しく見学できた。